

持続可能で心豊かな社会創造に気概をもつ人の育成

令和3年度における活動実績・成果の概要

- SDGsに関する国際ウェビナーシリーズを開催した。世界14か国からの多数の研究者・国際機関・大学院生の参加を得ることができ、持続可能な開発とそれに関する教育の可能性を探究することができた。また、これらの学術的交流に基づき、国際的な研究ネットワークの構築も準備できた。
 - 2021年10月30日「Rural Education in East Asia: Perspectives of Small Rural Schools」には、国内外から92名の参加者を得た。
 - 2021年11月27日「Higher Education for Sustainability Innovating University Teaching and Learning in Asia」には、国内外から61名の参加者を得た。
 - 2022年 2月19日「Partnership for education and beyond: Collaboration and networks for quality education」には、国内外から80名の参加者を得た。







- 持続可能な社会の創造を目指す研究スタート支援事業として推進中の「東松島市における『持続可能な社会の創り手』育成の教育エコシステムの再構築」について、「持続可能な世界に向けて好循環を生み出す人のあり方・学び方・働き方」ウェビナーを開催した。国内多数の研究者、市民団体・自治体・大学院生の参加を得ることができ、SDGsの本質およびSDGs推進の具体的方法などについて、意見交換の機会を得ることができた。また、東松島市における様々なSDGs推進取組みをとりまとめ、社会への発信もできた。本学のSDGs関連活動と地域自治体との連携強化もできた。
 - 2021年11月17日「SDGsの本質を捉える」には、55名の参加者を得た。
 - 2022年 1月12日「参加のしくみと協働のしくみをデザインする」には、50名の参加者を得た。
 - 2022年 3月 9日「『国連・ESDの10年』の経験を活かし、探究の高度化・自律性をデザインする」には、48名の参加者を得た。